緊急情報／防災情報

平成２８年９月１日
東北地方整備局

台風１０号の大雨による内水排除等に対応するため各地に災害対策用機械を派遣し活動しています！

８月２９日から８月３１日に台風１０号の大雨により青森・岩手県内で排水排除等に対応するため、東北地方整備局では復旧作業等の支援として、当整備局が所有している災害対策用機械を各地に派遣し、復旧活動をしています。

【災害対策用機械の稼働状況】
《直轄施設等》
・排水ポンプ車（排水完了）
馬淵川・青森県八戸市　　30m3/min×1台
国道４５号・岩手県宮古市　30m3/min×2台
《自治体支援》
①青森県七戸町（内水排除、8月31日排水完了）
排水ポンプ車（30m3/min）×1台、照明車×１台
②岩手県久慈市（内水排除、8月31日排水完了）
排水ポンプ車（30m3/min）×2台
③岩手県宮古市（道路復旧作業、8月31日稼働、9月1日以降継続）
照明車×１台

《岩手県岩泉町への派遣状況は下記のとおり》
【岩手県岩泉町への災害対策車派遣概要】（9月1日　15:00時点）
①岩泉町役場・・・復旧活動支援
衛星通信装置（Ku-SAT）×１基
照明車　　×６台（＋４台）
待機支援車　　×２台（＋１台）
対策本部車　　×２台（＋１台）
②小本川流域・・・排水作業支援（8/31完了）
排水ポンプ車×２台
照明車　　×１台
③国道４５５号・・・道路法面崩壊箇所監視
衛星通信装置（Ku-SAT）×１基
照明車　　×１台
④出動待機車両・・・岩泉町近隣にて出動準備中
照明車　　×３台
※岩泉町役場からの支援要請、並びにTEC-FORCEの調査結果により出動予定

〈 発表記者会：宮城県記者会、東北電力記者会、石巻記者クラブ、古川記者クラブ 〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　　電話　022-225-2171（代）

広報広聴対策官　　加藤　雄二（内線 2117）
企画部　施工企画課　課長　山尾　昭　（内線 3451）
情報通信技術課　課長　上原　光太郎（内線 3351）

（82東北）　8/30　台風10号による大雨対応
災害対策用機械派遣状況

平成28年9月1日
12:00現在

排水ポンプ車30t（青森24-4250）
照明車（青森12-4280）
青森県（二ツ森）
稼働終了後撤収

排水ポンプ車30t（青森18-4282）
青森河国（浅水川排水樋門）
稼働終了（8／31）

排水ポンプ車30t高揚程（岩手25-4254）
排水ポンプ車30t高揚程（岩手22-4280）
久慈市役所付近
稼働終了（8／31）後待機中

排水ポンプ車30t（青森25-4250）
TEC-FORCE（機械）－1名
岩手県岩泉町（小本川）
稼働終了（8／31）後待機中

排水ポンプ車30t高揚程
（東技23-4252）
稼働終了（8／31）後待機中
照明車（東技23-4283）
岩手県岩泉町（小本川）
稼働終了（8／31）後R445へ移動

照明車（秋田19-4282） 待機中　到着22:00（8／31）
照明車（秋田25-4281） 待機中　到着22:00（8／31）
照明車（能代16-4281） 待機中　到着21:10（8／31）
照明車（湯沢11-4284） 待機中　到着21:50（8／31）
照明車（東技23-4280） 待機中　到着　0:50（9／1）
照明車（東技23-4281） 待機中　到着　0:50（9／1）
照明車（東技23-4282） 待機中　到着　0:50（9／1）

対策本部車（東技23-4270） 待機中　到着　0:50（9／1）
待機支援車（東技23-1281） 待機中　到着　0:50（9／1）
TEC-FORCE（機械）－2名
岩泉町役場付近（集結場所：道の駅　たのはた）

衛星通信装置（Ku-SAT三陸V1）稼働中　運用13:10（8／31）
照明車（東技23-4283） 待機中　到着22:30（8／31）
R455岩泉町

照明車（岩手10-1280） 待機中　到着20:50（8／31）
照明車（岩手11-4281） 待機中　到着20:50（8／31）
対策本部車（岩手10-4280） 稼働中　到着22:20（8／31）
待機支援車（岩手19-4280） 待機中　到着22:20（8／31）
衛星通信装置（Ku-SAT岩手V1）稼働中　運用17:30（8／31）
岩泉町役場付近

照明車（岩手20-4282）
R106宮古市花原市付近
待機中

排水ポンプ車30t高揚程（岩手25-4254）
排水ポンプ車30t高揚程（岩手22-4280）
R45宮古市役所付近
稼働終了（8／31）

岩泉町役場本部車、照明車設置状況






小本川排水作業状況




R455法面崩落箇所映像配信状況




凡例
派遣場所
直轄派遣車両
自治体派遣車両

照明車

２０KVA　屈折ブーム式

<目的>・夜間でも復旧作業が出来るように支援する車両です。
<特長>・地上２０ｍから、広範囲を照らすことが出来ます。
・車両より下側も、照らすことが出来ます。
・照明灯の真下では新聞も読める明るさ。





東日本大震災での活動



車両より下側も照らせます。



排水ポンプ車

３０m³/min
水中モータ式

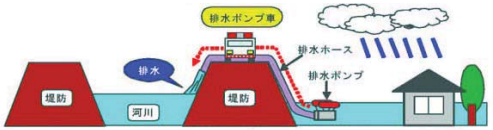




平成24年度　災害支援

<目的>
洪水などの浸水被害に対して、排水作業を緊急に行う車両です。
<特長>
・毎分３０m³の排水が出来ます。
・移動できるので、どこでも対応出来ます。

どのぐらいの能力かな？
・標準的な小学校の２５ｍプールを約１０分で空に出来ます。



排水作業イメージ図

対策本部車

拡幅型

<目的>災害が発生したとき、現地指揮を行う為の基地となる車両です。
<特長>・情報収集のために、各種通信機器を搭載しています。
・拡幅した会議室は１０名程度で打合せが出来ますので、現地対策本部を迅速に設置出来ます。





拡幅後使用可能状態



車両内部・現地対策本部内

平成15年度7月・宮城北部地震



待機支援車

<目的>災害が発生したとき、現地派遣者の活動を支援する車両です。
<特長>・通信機器を搭載しており、簡易な打合せにも利用できます。
・収納式ベットを搭載しており、休憩・仮眠に利用できます。





H24災害支援



車両内部・全景



車両内部・簡易厨房

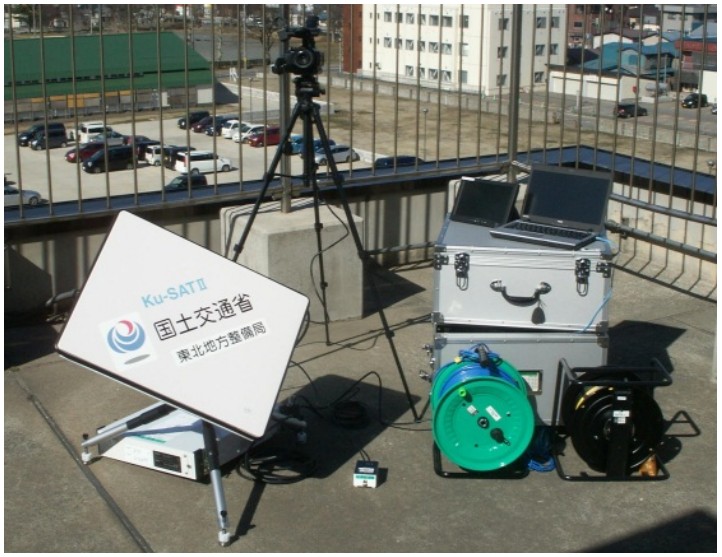


車両内部・簡易ベット



発電機・設置時

えいせいつうしんそうち
衛星通信装置（Ｋｕ－ＳＡＴ）



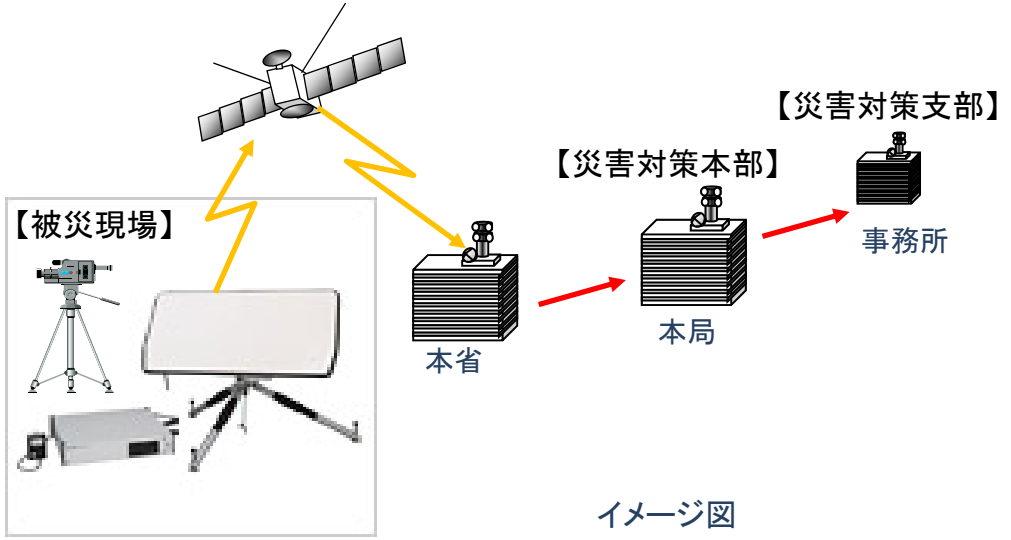
＜目的＞

・災害等の被災状況や復旧作業等の現地画像等を衛星を経由して伝送する装置です。

＜特長＞

・可搬型の衛星通信回線なので、どんな災害現場でも回線構築ができます。

・映像（準動画）、電話、FAXのほか、PC端末、LANによる各種センサー接続など、現場のリアルタイムな情報の送受信が可能です。



イメージ図